PART4 食料問題

Chapter1　食料問題への取り組み

目標　国連やNGO，NPOによる，食料問題解決のための活動の概要を理解しよう。
フェアトレードによって，支援できることは何だろう。

1　食料問題の解決に向けての国際的な取り組み

・〔　　　　　〕などの機関によって，発展途上国の**飢餓**や**食料問題**を解決するための活動が行われている。

・資金や食料の提供だけでなく，〔　　　　　　　　　　　〕を向上させるための**技術協力**など。

・国際的な機関による包括的な対応が難しい問題には，〔　　　　　〕（非政府組織）や〔　　　　　〕（非営利団体）の細やかな活動が成果を上げている。

マダガスカルでの食料配給活動

農業技術支援

2　食料問題の解決に向けた具体的な取り組み

1．フェアトレード

・〔　　　　　　　　　　　　〕とは，**公正取引**という意味で，主に発展途上国の生産者へ正当な対価を支払うための取り組み。

・国際的な貿易の枠組みでは，**発展途上国**からの輸出物が**安値**で取引されてしまう場合がある。それを是正するために，チョコレートのような製品を〔　　　　〕な価格で買うことで，**カカオ**の栽培地域である発展途上国の経済的自立を目指す取り組み。

フェアトレードのマーク

・例えば**コートジボワール**では〔　　　　　〕栽培における〔　　　　〕労働が問題となっている。**フェアトレード**などを通じて子どもたちを労働から解放し，彼らの**就学率**を上げることが地域の**持続的な発展**につながる。

2．フードバンク

・先進国では〔　　　　　　　　　〕（食品ロス）の問題が多く発生しており，食品が日常的に大量に**廃棄**される。**フードロス**を減らすため，〔　　　　　　　　　　〕の取り組みが行われている。

・フードバンクとは，品質には問題はないが廃棄せざるを得ない食品を農家や食品メーカーから**寄付**してもらい，NGO などを介して多くの人々に与えるしくみ。主に国内の貧富の差を是正する施策として行われているが，一部では国を越えた支援も行われている。

フードバンクの活動

まとめ
資金や食料の援助，食料自給率を上げるための技術協力など。
発展途上国の生産者を守り，持続的な発展を支援することができる。

Chapter2　穀物自給と食料生産

目標
発展途上国の食料自給率を上げるために行われた取り組みを理解しよう。
日本で行われている食料問題に対する取り組みには，どんなものがあるだろう。

1　発展途上国の食料問題

・**発展途上国**では**1人1日当たり供給栄養量**が〔　　　　〕く，栄養失調などの懸念が生じる。
・発展途上国では〔　　　　〕作物の生産が優先され，〔　　　　〕作物の生産が十分ではないことも。**商品作物**の**輸出**により外貨を稼ぎ，食料用の**穀物**は先進国からの**輸入**に依存する。
・また，**やせた土地**や生産性の〔　　〕い農業形式の採用なども，**食料自給率**が向上しない原因となっているが，改善するための資金を捻出できない国も多い。

2　発展途上国の食料増産への努力

1．緑の革命
・**緑の革命**とは，アジアやラテンアメリカで行われた農業改革。
・政府主導による，**高収量品種**の導入や**化学肥料**の使用など，近代的な農業技術により〔　　　　〕の増産を目標とする。
・東南アジアでは，〔　　〕の収穫量が飛躍的に増え，**食料自給率**の向上に貢献した。
・一方，その恩恵を受けたのは〔　　　　〕層が中心であり，**貧富の差**が〔　　　　〕するなどの問題も発生している。

2．新たな品種の開発
・〔　　　　　　　〕では，日本などの先進国の**資金援助**や**技術協力**を受けて，〔　　　　　〕米の開発・普及が進む。
・**ネリカ米**とは，生産性の高いアジアの米と乾燥や病虫害に強いアフリカ米を掛け合わせた**高収量品種**。

ネリカ米の栽培

3 日本の食料問題

・日本の**食料自給率**はカロリーベースで約 **40%**で，先進国の中では最低レベル。

・〔　　〕や〔　　　　〕の自給率は高いが，ほかの農畜産物の多くは輸入に依存。

・特に〔　　　　〕となる**トウモロコシ**や**大豆**はほとんどが輸入。

・食料を海外に依存することの問題点には，以下のようなものがある。

・海外産地の動向に食料供給が影響され，**国内供給が不安定**になる。輸入品に淘汰され，国内農業が〔　　　　〕。

・海外産地における**環境破壊**や，〔　　　　　　　　　　　　〕（食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせた指標）の増大など。

・また，ほかの先進国同様，**フードロス**（食品ロス）の問題も。

4 日本の食料問題への取り組み

・〔　　　　　　　　〕：
農業の担い手不足の解消や天候の影響を受けない栽培を目指すため，管理された施設で農産物の生産を行う。太陽光のみでなく**人工光**も用いられる。全国的に増加。

植物工場

・〔　　　　　　　　〕の活動：
地域で生産された農産物を，その地域内で消費することを目指す活動。生産者と直結し，食を通じて農業や文化を理解する**食育**にもつながる。
〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕も軽減される。

道の駅

・〔　　　　　　　　　　〕（食品ロス）を防ぐ活動：
「買いすぎず」，「使いすぎず」，「食べ切る」ことをスローガンとする活動。余った食材は**フードバンク**活動を通じ，食べ物を求める人々のもとへ届ける。

まとめ
緑の革命による収穫量の増加や，新品種の開発など。
植物工場での農産物の生産,地産地消の取り組み,フードロスを減らす活動など。

第12講　PART4　確認問題

1 食料問題解決のために行われている国際的な取り組みについての説明として，**誤っている**ものはどれか。

① 国連が主導する取り組みがある。
② NGO や NPO が行っている取り組みがある。
③ 資金や食料の提供のみが行われている。
④ 技術協力が行われている。

2 発展途上国の生産者の経済的自立を促すための公正取引を何と呼ぶか。

① アグリビジネス　② トレーサビリティ
③ フェアトレード　④ フードバンク

3 カカオの生産量と輸出量が世界一であり，カカオ栽培における児童労働が問題となっている国はどこか。

① エチオピア　② ケニア
③ コートジボワール　④ ナイジェリア

4 農家や食品メーカーから廃棄せざるを得ない食品を寄付してもらい，NGO などを介して食事に困っている人々に与えるしくみを何というか。

① フードサプリ　② ファストフード
③ フードバンク　④ フードロス

5 発展途上国で食料不足になる要因として**誤っている**ものはどれか。

① 商品作物の優先栽培
② やせた土地
③ 生産性の悪い技術の採用
④ 農業従事者の不足

6 緑の革命について説明した以下の文のうち，正しいものはどれか。

① 主にヨーロッパで普及した。
② 化学肥料を使用しない有機栽培を行う。
③ 生産性の向上の一方で貧富の格差の拡大が生じた。
④ 高収量品種の導入により商品作物の増産を目指す。

7 アジアとアフリカの品種を掛け合わせることで誕生した病気に強い高収量品種で，近年アフリカで栽培が拡大している米を何というか。

① ウガリ　② チューニョ
③ トルティーヤ　④ ネリカ

8 日本のカロリーベースの食料自給率は約何％か。

① 10%　② 40%
③ 70%　④ 100%

9 環境負担を示す指標として知られるフードマイレージは，何を指す言葉か。

① 食料生産時のエネルギー消費
② 食料保管時のエネルギー消費
③ 食料廃棄時のエネルギー消費
④ 食料輸送時のエネルギー消費

10 地域で生産された農産物をその地域内で消費することを何というか。

① 食料安全保障　② 地産地消
③ フェアトレード　④ 地域おこし

第12講　PART4　確認問題　解答

1 解答：③

世界の食料問題解決のため，国連や各国の NGO・NPO などにより，資金や食料の提供のほかに，**自給率向上のための技術協力**も行われている。

2 解答：③

フェアトレードは，コーヒー豆などの商品作物の取引において，生産者に正当な対価を支払うためのしくみで，世界中に取り組みが広がっている。

①：農業関連ビジネス，あるいは農業関連企業のこと。
②：商品の生産地や流通経路などを追跡できるシステムのこと。
④：品質上問題はないが廃棄される食品を必要な人に届ける取り組みのこと。

3 解答：③

コートジボワールはカカオの生産量（2018 年），輸出量（2017 年）ともに世界全体の約４割を占め，世界一である。

①：コーヒー豆やトウモロコシなどが主産物。
②：コーヒー豆・切り花・茶などが主産物。
④：原油の輸出が主産業であり，カカオの生産は世界４位である。

4 解答：③

先進国では，食品が日常的に大量に廃棄されるフードロス（食品ロス）が問題となっており，品質上問題はないが廃棄される食品を有効に活用する**フードバンク**の取り組みが少しずつ普及し始めている。

①：栄養補助食品。
②：調理時間が短く，手軽に食べられる簡易な食品。
④：本来食べられる食料を廃棄すること。

5 解答：④

一般に，発展途上国では**第一次産業への就業率は高い**傾向にある。①～③は全て発展途上国における食料不足の要因として正しい。

6 解答：③

高収量品種や設備を導入できた農家とそうでない農家との間で，**格差**が拡大した。

①：主にアジアやラテンアメリカなどの発展途上国で行われた。
②：農薬や化学肥料を使用することで，生産性の向上を目指す。
④：米や小麦など，自給のための穀物の生産が主な目的。

7 解答：④

ネリカ米は，高収量のアジアの品種と病虫害に強いアフリカの品種を掛け合わせてつくられた。

①：穀物の粉を湯で練り上げたアフリカの伝統食。
②：ジャガイモを凍結乾燥させたアンデス高地の保存食。
③：トウモロコシの粉を薄く焼いたメキシコの伝統食。

8 解答：②

日本のカロリーベースでの食料自給率は約 **40%**であり，小麦や大豆，トウモロコシ，肉類など，食料の多くを**輸入に依存**している。

9 解答：④

フードマイレージとは食料の輸送量と輸送距離を掛け合わせた指標で，**輸送に伴うエネルギー消費**による環境負荷に着目したものである。日本のような食料輸入国はこの指標が極めて高く，環境に負担をかけているということができる。

10 解答：②

地産地消の取り組みによって，地域の農業振興のほか，食の安全性の確保やフードマイレージの抑制など，さまざまな効果が期待され，推奨されている。

①：すべての国民が食料を安定的に合理的な価格で入手できるようにすること。
③：発展途上国の生産者の経済的自立を促すための公正取引。
④：地域の活性化を図るさまざまな活動。